

武者(一)眉濃く(一)を(一)讀(一)りてし

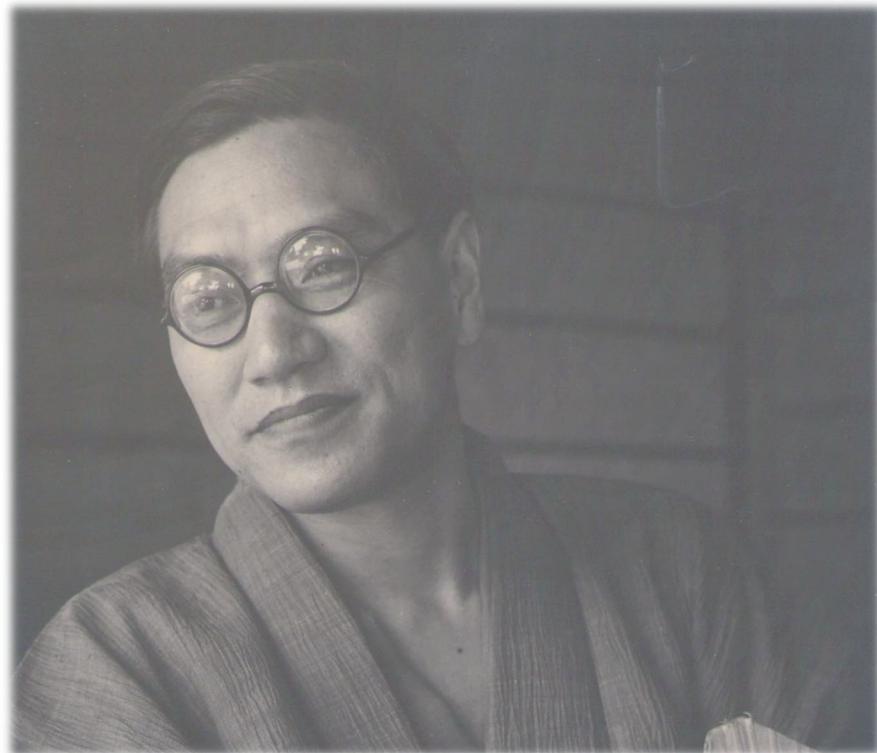
誓子は一九四一(昭和十六)年九月から結核の療養のため四日市市に転居し、戦後の一九五三(昭和二十八)年まで伊勢湾岸の地で過ごします。結果的には疎開をしていた形でした。そんな中で、誓子も戦争俳句やいわゆる戦火相望俳句を詠んでいます。特高による言論弾圧である「京大俳句事件」の影響か、好戦的な俳句も詠まれ、それらは『激浪』という句集にまとめられますが、戦後一九四六(昭和二十一年)の出版の際には、GHQの検閲を怖れて日常を詠んだ句に差し替えて出版されました。戦争に翻弄された俳人の一人として、当時の誓子の創作をたどります。

誓子 来た 雨 子の 義

秋 た だ け は

と

戦争



戦後 80 年 山口誓子特別展

誓子

会期

令和 7 年 9.8 (月)

- 10.17 (金)

開館時間

10 時-16 時 (期間中の平日)

※ただし 10.11 (土) は開館

会場

神戸大学百年記念館 1 階展示ホール

入場無料

関連施設 山口誓子記念館 10 時-16 時 (火・木曜)

期間中の催し

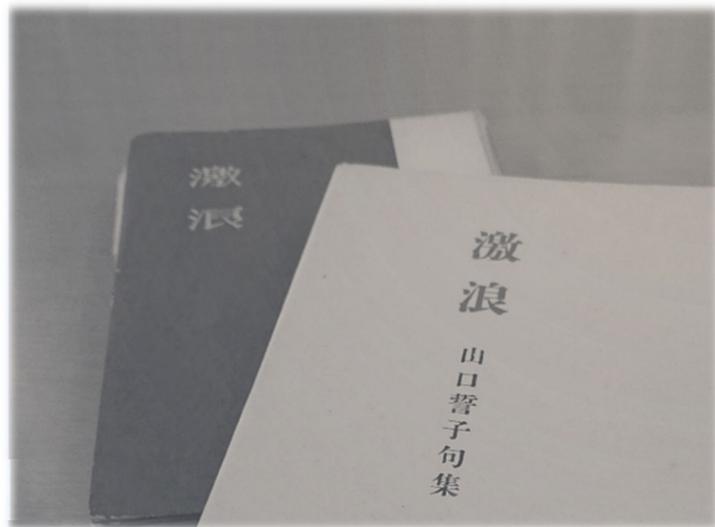
第 36 回山口誓子学術振興基金公開講演会

日時：令和 7 年 10 月 11 日 (土) 午後 2 時 30 分~4 時 (受付/午後 1 時 30 分~)

会場：神戸大学百年記念館「六甲ホール」(※要事前申込・定員 200 名) 後日収録配信を実施予定

講師：青木 亮人 氏 (愛媛大学教育学部 教授)

演題：「俳句、映画、写真の邂逅 — 誓子「汽罐車」連作の凄みを探る —」



左：昭和 23 年刊 右：昭和 21 年刊

【主催】国立大学法人神戸大学

【お問合せ】神戸大学研究推進部研究推進課研究推進グループ

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-5393